

平成25年度 犬山「子ども大学」 実施状況報告書



主催：(特) 犬山しみんていの会

目次

はじめに

1. 犬山「子ども大学」の充実、発展にむけて

2. 講座別参加状況

3. 各講座の紹介

＜犬山市委託事業＞

- ① 国際理解 料理と音楽で世界をつなごう！子ども外交官
- ② 日本文化にふれよう！“お茶・お花”
- ③ 生き物探検隊 パートⅠ 午前の部
- ④ 生き物探検隊 パートⅡ
- ⑤ サイエンス 電子工作
- ⑥ 君も エジソンになれる！
- ⑦ はじめての 楽しい陶芸
- ⑧ 囲碁・将棋たいけん教室
- ⑨ 伊勢型紙 “やさしい 型紙づくり と 型ぞめ”
- ⑩ 絵画教室 午前の部
- ⑪ 絵画教室 午後の部
- ⑫ 和太鼓を たのしく たたこう
- ⑬ 押し花で ものづくり
- ⑭ 犬山原始人クラブ
- ⑮ おもしろ レクスポーツ
- ⑯ 冒険教室（基礎編）
- ⑰ 子どもの自然教室 午前の部
- ⑱ 子どもの自然教室 午後の部

＜あいちモリコロ基金助成事業＞

- ① 生き物探検隊 クライマックス
- ② 冒険教室（上級編）

4. アンケート調査結果

5. 子ども大学実行委員会名簿

1. 犬山「子ども大学」の充実、発展にむけて

(特) 犬山しみんていの会コーディネイター

犬山子ども大学推進実行委員会委員長 川 島 典 之

犬山子ども大学は、犬山市教育委員会が平成14年度から学校週休2日制への対応策として始めました。当会は、平成15年9月にNPO法人を取得した機会に、犬山市教育委員会へ提案を行い、それを受け入れてもらい平成16年度から委託を受け実施することになりました。

平成25年度は、20講座421人です。ここ数年やや受講者が減ってきていますが、これは児童・生徒数自体が減少してきていることとも関係があるものと考えています。(24年度22講座431名、23年度21講座453名、22年度は22講座473名、21年度21講座408名、20年度22講座436名、19年度17講座362名、18年度18講座363名、17年度15講座287名、16年度13講座196名)

25年度の特色は、「生き物探検隊クライマックス」が活動時間7時間が4回、「冒険教室～上級編～」では活動時間7時間が4回、一泊二日が3回です。この二講座は、子ども達が一回り大きくなり、成長したのを見えるようになりました。

私は、子ども達の世界から集団による遊びがなくなったことが、子ども達に大きな問題を引き起こしている主因と考え、その方策として子ども達に仲間との関わり方、友達づくりになることのできる機会を数多く作って来ました。この姿勢は今後も変わることはありません。

当会では、子ども大学の講座を行う上で、次のことを大切にしています。

- 1 子ども達が、学校・家庭でできない体験をすることによって、感動と達成感を味わって欲しいこと⇒感動と達成感の場の提供
- 2 保護者及び多くの方に、体験活動＝“遊び”が、子どもの成長にとって“かけがえのない宝物”であることの普及をはかること⇒体験活動の大切さの普及
- 3 少子化社会の中で、各地域で子どもの健全育成を進めていく土壌づくりに寄与していくことができれば嬉しいと考えています⇒地域での青少年健全育成の場の拡充

参加者数が着実に増加していることは、保護者の方々が、私が考えている『子どもの将来にとって体験活動の大切さ』を十分理解して頂いていることの現われと考えています。

おわりに、子どもさんを送り出していただいた保護者の皆さんに心から感謝申し上げますとともに、



この子ども大学にご協力いただいている指導員・講師の方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



☆平成25年度 活動成果発表会
平成26年2月3日 (日)

2. 講座別参加状況

〔学校別〕

	楽田小	羽黒小	東小	南小	西小	北小	城東小	今井小	池野小	栗栖小	城東中	犬山中	東部中	南部中	市外小中	小計
犬山市委託																
① 国際理解	3	4	2	5	4	6	10		1						1	36
② お茶お花		1	2	3	5	4	7									22
③ 生き物探検隊Ⅰ	4		5	4	2	3	5								2	25
④ 生き物探検隊Ⅱ	5	4	1	3	1	1	2									17
⑤ 電子工作	2	2		3	2	3	2					1				15
⑥ エジソン	2	5	6	1		7	6								2	29
⑦ 楽しい陶芸		2	1	2		3	12		2						1	23
⑧ 囲碁将棋	3	3	3	3		2									4	18
⑨ 伊勢型紙			1		1	3	6									11
⑩ 絵画教室AM	9	2		2	2	6	3		1	1						26
⑪ 絵画教室PM	2	4	4	3	1	2	7								2	25
⑫ 和太鼓	1	1	2	3	4	1	2								1	15
⑬ 押し花	3	2		3	2	3	7									20
⑭ 原始人		4	5	2		1	7								3	22
⑮ レクスポーツ	8	3		8	2	1	8									30
⑯ 冒険教室基礎	1	3		1	3		5		2							15
⑰ 自然教室AM	7	2		2	2	4	4								2	23
⑱ 自然教室PM	2	2	2	2	1	5	4								4	22
あいちモリコロ基金助成事業																
⑲ 生き物クライマックス	1		1		1	1	2		3			1	1	1	2	15
⑳ 冒険教室上級		1	1		3	1	1		2				1		2	12
計	53	45	36	50	36	57	101	0	11	1	0	2	2	1	26	421

〔学年別〕

		1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生	中 1 年	中 2 年	中 3 年	計
犬山市委託											
①	国際理解	10	4	14	5	2	1				36
②	お茶お花	6	5	5	3	1	2				22
③	生き物 探検隊Ⅰ		12	8	4		1				25
④	生き物 探検隊Ⅱ			5	7	5					17
⑤	電子工作				4	8	2			1	15
⑥	エジソン	6	9	5	5	1	3				29
⑦	楽しい 陶芸	6	1	7	2	5	2				23
⑧	囲碁将棋	3	2	2	4	4	3				18
⑨	伊勢型紙	1	1	4	1	3	1				11
⑩	絵画教室 AM	12	3	6	2	1	2				26
⑪	絵画教室 PM	2	5	7	4	3	4				25
⑫	和太鼓			4	3	7	1				15
⑬	押し花	3	7	4	4	2					20
⑭	原始人				6	4	12				22
⑮	レク スポーツ	3	6	7	4	6	4				30
⑯	冒険教室 基礎			4	6	3	2				15
⑰	自然教室 AM	9	11	3							23
⑱	自然教室 PM	8	5	3	2	4					22
あいちモリコロ基金助成事業											
⑲	生き物 クライマックス				3	2	5	3	1		15
⑳	冒険教室 上級				7	1	2		2		12
計		70	71	88	76	62	47	3	3	1	421

3. 各講座の紹介

<犬山市委託事業>

①国際理解 “料理と音楽で世界をつなごう！子ども外交官” 参加者数：36名

指導員：松本里美・齋藤知子〔(特)シェイクハンス〕

内容：世界のいろんな文化を体感します。珍しいお料理やダイナミックな音楽。

夏に異文化体験キャンプ、領事館へも訪問します。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前9時30分～11時30分（原則）

回	月 日	内 容
①	6/22	ペルーの食と文化を知ろう
②	7/20	ブータンの食と文化を知ろう
③	8/3～8/4	宿泊交流会 ワールドミニキャンプ
④		「世界中でシェイクハンド！ 届け世界に、被災地に！」
⑤	9/14	ロシアの食と文化を知ろう
⑥	10/16	ペルー領事館の訪問と、JICAなごや地球ひろば
⑦	10/26	ベトナムの食と文化を知ろう
⑧	11/30	ブラジルの料理と文化
⑨	12/21	クリスマス料理でハンガーバンケット
⑩	1/18	中国の手づくり餃子で旧正月を楽しもう

講師コメント

- ・ 今年も36名という大所帯で始まりました。低学年の子ども達が多いなか、少数の高学年の子たちがリーダーシップをとりながら仲良くなり、1年間とても楽しく料理などに取り組みました。
- ・ まずは身近な国（犬山の南部地区にも多く住んでいる人達がいる）「ペルー」について、次はあまり知られていない「ブータン」について、この国は遠くて近い国といわれるほど日本とのつながりが深い国でした。
- ・ 宿泊交流では、日本と世界の文化を体験し、東北被災地への思いを深めました。
- ・ 今年初めてJICAの名古屋地球子ども広場で世界のことについて、クイズなどで勉強し、アフリカの給食を体験し、自分達で寄付もしました。
- ・ 毎年恒例のハンガーバンケットでは、クリスマスのプレゼントやケーキがない国もあることを知ってもらえたと思います。
- ・ 最後に中国の春節をテーマに水餃子作りなどを親子で体験しました。
- ・ 将来のこの子たちが大きくなったときに、少しでもこの体験を思い出して、世界のことを考えられる人になってくれたら、とても嬉しく思います。



参加者感想

- ・ 料理がいっぱいできたし、いっぱいわかるようになりました。
- ・ 外国の料理を作って食べたり、ほかの国のことを楽しく勉強できるので参加するのが楽しみ。
- ・ お料理とか色んなものを作るのが楽しいです。これからも参加してみたいです。マトリョーシカが楽しかったです。
- ・ たのしく外国のことを学べてたのしいです。

②日本文化にふれよう！お茶・お花

参加者数：22名

指導員：伊東千恵子・斉藤陽子〔犬山市文化協会茶華道部〕

内容：季節のお茶お菓子をいただきながら、感謝をし、おもてなしの心を伝えてゆきたい。

お花を生けることで、命の大切さ、植物の命、自然を学ぶ。

対象学年：小学1年生～6年生

活動時間：午前9時30分～11時30分

回	月 日	内 容
①	6/15	・基本動作（おじぎの仕方、歩き方、立ち方、座り方） ・道具の説明 ・お抹茶、お菓子のいただき方
②	6/29	・お点前の基本練習（ふくさ、茶器などの扱い方） ・お抹茶の点て方、お菓子の出し方
③	7/6	・お茶の歴史 ・お点前の練習 ・お抹茶の点て方、いただき方の復習
④	7/13	・お点前の総復習 ・お客様の練習
⑤	7/28	・つくばい（手を洗う）の使い方 ・茶室にてお抹茶やお菓子をいただく
⑥	9/14	初めての生け花 楽しくお花とお話をしましょう（カップを使って）
⑦	10/19	草木の生きる力をみましょう 水上げの仕方 自然としたしむ （花器、剣山を使って）
⑧	11/2	季節と遊ぼう 季節の花を覚えましょう のびのびと活けましょう （花器、剣山を使って）
⑨	11/16	生け花で「ありがとう」 プレゼントのお花 誕生日、お祝いなど
⑩	12/14	くらしの生け花 行事の花を活けましょう クリスマスの花

講師コメント

お花

- ・本年度は低学年が多く大変だったけれど、子ども達は明るく伸び伸びと、生け花を楽しんでくれました。

お茶

- ・伝統文化を伝えるためには、子どもの体験が大切です。
- ・今回は低学年が多く、楽しみながら学んだと自負しております。



参加者感想

- ・「お茶」とか「お花」とか、どんなのかよくわからなかったけれど、習ったらすごく楽しかったです。
- ・日本の文化を身近に楽しむことができた。
- ・「お茶」で歩き方をやったり、「お花」でかざり方をやって、とても勉強になりました。
- ・「お茶」のお菓子はおいしかったけど、お茶はちょっと苦かったです。お花は犬の花がかわいかったです。こんどは、リースを作りたいです。
- ・お茶を上手にたてられるようになってうれしかった。お花の上手な生け方を教えてもらえてよかった。
- ・お茶は、楽しくてお茶をたてるときに良いにおいがして、のむとにがかった。お菓子は、七夕のお菓子がとてもおいしかったです。お花は、お花を活けるのが楽しかったです。三角形にするときれいでした。
- ・お茶やお花に興味が出ておもしろかったです。



③生き物探検隊 パートⅠ

参加者数：25名

指導員：宮田賢輔〔(特) トンボと水辺環境研究所〕

内容：昆虫採集や標本づくり、魚とり大会や生き物の飼育の仕方を勉強し、自然の基礎を学びます。

対象学年 小学2年生～中学3年生

活動時間 午前10時～12時

回	月日	テ ー マ	内 容
①	6/30	トンボ講座	トンボについて知ろう！
②	7/14	昆虫の標本作り	標本の作り方
③	7/26	昆虫採集	どんな虫が見つかるかな？
④	8/11	魚の飼育セットを作ろう	ミニビオトープのしくみ
⑤	8/18	がさがさ大会	川の魚や生き物をとろう
⑥	9/8	苔玉をつくろう	苔玉の役割や、作り方、育て方
⑦	10/6	鳴く虫を捕まえよう	どんな鳴き声？
⑧	11/24	カブトムシ講座	カブトムシの一生と、飼育の仕方
⑨	12/21	ストーンペインティング	どんな石？ 何を描く？
⑩	1/18	冬眠している生き物を探そう	どんな生き物が見つかるかな？

講師コメント

- ・ 今年は例年よりも生物の数が多く、みなさん楽しかったと思います。
- ・ 様々な生き物と出会い、ふれあい、そして飼育し、時には死んでしまうこともあったでしょう。その中で生き物や自然の面白さは無限大で魅力的だ、ということに気付いたと思います。
- ・ 私はたくさんの生き物の名前や生態、おもしろ話などをたくさんしてきました。しかしいつも言ってきたことは、人間は生き物達に支えられているのだということ！
- ・ 多種多様な自然、生き物がいるこの犬山を守っていくのは僕達地域の人間の使命です。
- ・ ここで勉強したことを活かして、小さなできることをさがして、自ら行動してくれたらとても嬉しいです。
- ・ この教室で「つかまえたっ！」のは僕らの地球の未来！！

参加者感想

- ・ 生き物の大切さを生き物クラブで初めて分った。これからもっともっといろんなことを知って、いろんなことをやって、姉の知らないことまで知りたい。
- ・ コケにつけたり、虫を捕まえるのが難しい。
- ・ 生き物のことがよく分った。
- ・ いっぱい虫のことを知ってよかった。
- ・ 生き物を捕まえるのが楽しい。
- ・ 魚捕りがうれしかった。魚をいっぱい捕りたい。



④生き物探検隊 パートⅡ

参加者数：17名

指導員：宮田賢輔〔(特) トンボと水辺環境研究所〕

内容：自分で竿を作って魚をつったり、真夜中に昆虫をとったり、川の生態調査、爬虫類や両生類など少し専門的な自然体験を経験します。

対象学年：小学3年生～中学3年生

活動時間：午前10時～12時（宿泊もあり）

回	月日	テ ー マ	内 容
①	6/15	隊員バンダナを作ろう	植物で染める
②	6/16	エビ、魚とりマシーン	作り方・仕掛けのエサ
③	7/14	真夜中の昆虫採集	昆虫採集の仕方（ライトトラップ）
④	7/15	クワガタムシ講座	クワガタの取り方・飼い方
⑤	7/21	両生類について知ろう！	両生類とは？・両生類が住める環境
⑥	8/3	釣りざおを作ろう！	釣りざおの作り方
⑦	8/4	釣りをしてみよう！	釣りの仕方
⑧	8/31	爬虫類について知ろう！	爬虫類とは？・爬虫類が住める環境
⑨	9/1	川の上流の生き物調べ	上流の川の特徴 ※協力：入鹿森林愛護組合
⑩	10/27	川の中流の生き物調べ	中流の川の特徴

講師コメント

- ・ 今年は春、初夏が寒く生き物達の活動も全体的に遅めでした。しかし、子供達も一生懸命山に川に突撃し、たくさんの生き物を発見したり勉強することができました。
- ・ 真夜中の昆虫採集では珍種のトゲナナフシをたくさん発見し、私自身が大喜びしました！毎日自然のことをやっている私でも初めての発見があります。自然とはとても奥深い物だと再認識しました。
- ・ 子供達にもこの興奮やロマンが少しでも伝わっていたらとても嬉しいと思います。
- ・ これからも生き物の名前や特徴だけでなくなぜ生き物が人間にとって大事なのか体験を通して伝えていきたいと思います。豊かな犬山の自然を守っていくために！

参加者感想

- ・ きれいな川には魚が少なく、にごっている川には、けっこういっぱい魚がいる事がわかった。それまでは、川には魚がたくさんいると思っていたから。
- ・ 講座を通して自然のことや、昆虫、植物、生き物が生きていける環境がわかり、心に残った。
- ・ 普段出来ない体験や生き物の勉強をたくさんする事が出来てとても楽しい。僕たち子どもが生態系を守るために、これからも自然を大切にしていかなければいけないと思いました。
- ・ いろいろな生き物が見ることが出来てうれしかった。これからも先生から教えてもらったことで、生き物を大切にしていきたい。
- ・ 普段やれないこと、竹竿作りに夜のライトアップ、夜の昆虫採集など、みんなで楽しくできていい。



⑤サイエンス 電子工作

参加者数：15名

指導員：永井末男〔草の根電子工作〕

内容：P I Cマイコン応用したゲーム機、手描きピアノと自分流のキーボード製作、トランジスターラジオの制作。

対象学年：小学4年生～中学3年生

活動時間：午前9時30分～11時30分

回	月 日	内 容
①	6/8	・トランジスターラジオ作り ・明るさで音階が変わるオルガン作り ・手描きピアノ作り
②	6/22	
③	6/29	
④	7/6	
⑤	7/20	
⑥	7/27	
⑦	8/3	
⑧	8/17	
⑨	9/21	
⑩	10/26	

講師のコメント

- ・ アイデアと作る物も大変でしたが、皆さんが楽しめるような講座内容にしていきたいです。

参加者感想

- ・ ハンダが難しい。でも楽しい。
- ・ 思ったより結構難しい。
- ・ ハンダ付けが難しい。難しいけど出来たときは達成感があつた。
- ・ しっかりつくることができました。トランジスターラジオをしっかりと作れました。



⑥君も エジソンに なれる！

参加者数：29名

指導員：若杉廣己〔グリーンマップ犬山〕

内容：子ども達の創造力・自立力・協調力を引き出すため、一人で考え作るもの、みんなで協力して「ソーラーカー、ペットイカダ、ホバークラフト」を作りましょう！

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前9時30分～12時

回	月 日	テ ー マ	内 容
①	6/1	太陽はあつい	ソーラーレンジ
②	7/6	光はすごい	ソーラーカー
③	7/27	光はすごい	ソーラーカー組み立て
④	8/3	光はすごい	ソーラーカー運転
⑤	8/24	水のちから	ペットイカダ
⑥	9/7	水のちから	ペットイカダレース
⑦	10/26	あるくかな？	ロボットづくり
⑧	11/2	空気のちから	ペットロケット
⑨	12/7	空気のちから	ホバークラフト
⑩	1/25	風にのろう	鳥凧・江戸凧づくり

講師のコメント

- ・ ソーラーカーでは、道具を使いグループで作るために工程で差が出てくるが、まとめようとする子が各グループに出てくる。
- ・ 実際に乗車し走行させる時は、自分達で作った車だから、調子が悪くなると自分達でなんとか直そうとがんばってみんなで考える。
- ・ PETイカダはみんなで作り、旗のデザインを話し合って決めていた。
- ・ イカダレースでは、チームの仲間が上手く力を合わせて、順調にゴール出来るチームもあれば、まとまることが出来ず、上手く進ませることが出来ないチームもあった。
- ・ ロボット作りでは、メカニズムを先に理解出来た子が、周りの子に教えるということもあった。
- ・ ホバークラフトでは、チームのまとまりが良くなり、自分たちで直しながら遊んでいた。
- ・ ペットロケットや凧あげは、各自自分で工夫し、何度も自分で納得いくまでチャレンジしていた。
- ・ みんなでいろいろな努力をした分だけ、1年で大きくなった。

参加者感想

- ・ 回を重ねるにつれてどんどん楽しくなってきました。
- ・ とても楽しかったです。来年もやりたいです。
- ・ つくって、たのしいなっておもった。



⑦はじめての 楽しい陶芸

参加者数：24名

指導員：尾関邦彦・尾関大〔尾関陶芸教室〕

内容：基本の作り方を学び、それを利用し、子ども達の作りたいものを作る。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前9時30分～12時

回	月 日	タイトル	内 容
①	6/9	基本を学ぶ	茶碗をつくる
②	6/23		茶碗の仕上げ
③	7/7		花瓶をつくる
④	7/21		花瓶の仕上げ
⑤	8/4		タタラでつくる
⑥	8/25	共同制作	グループ制作
⑦	9/8		
⑧	9/15		
⑨	10/13	絵付け	
⑩	11/10	完成品発表会	

講師コメント

- ・ 今年も、沢山の子供達に参加して頂きました。
- ・ 前回と、今回は特に 1～3 年生の比率が高かった
ので、教える此方も、説明に苦戦すること多々
あります。
- ・ 教わる子供達にとっては、知ら無い「事」「物」
ばかりが説明に出て来るので、理解や、納得する
のになかなか、大変だっただろうと思います。
- ・ それでも、子供達は楽しそうに、一生懸命に自
分の作品を作っていました。
- ・ 子供達に限らないのですが、個性は様々で、形
を作るのが好きな子もいれば、色を着けるのが好
きな子もいます。家族の為にコップを造ったり、
お茶碗を造ったり。
- ・ 絵の具は、大人が思いつかない使い方をしたり、
子どもらしい発想力で、いつも楽しませてもらっ
ています。
- ・ 次回から、少しプログラムを変更して、ゆっくり、
しっかり器造りをしてもらおうかなと思ってお
ります。



参加者感想

- ・ すごく楽しいし、陶芸はあまり出来ないから出来
てすごく嬉しかったです。陶芸は初めてだったの
で、早くやりたいなと思っていました。
- ・ 自分が作りたい物が作れたのでよかったし、作り方が簡単でよかったです。
- ・ やり始める前は、簡単そうだったけど、やってみたら思ったより難しかったです。私はお皿が土で出来てい
るなんて知りませんでした。土で出来ていることを知ってびっくりしました。
- ・ 陶器は好きな形に出来るし、好きな絵も描けるので楽しいです。それに茶碗に皿など、使えるものばかりで
うれしいです。

⑧囲碁・将棋たいけん教室

参加者数：18名

指導員：西尾晴孝・水野忠治〔しみんてい囲碁将棋体験教室〕

内容：日本の伝統あるゲーム（囲碁・将棋）を楽しみながら、失敗（負け試合）から学べる人になろう！

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前10時～12時

回	月 日	内 容
①	6/9	- 対局するときのマナーについて - 初心者に対して、対局の始め方、終わり方、基本ルールの説明 - 各自の希望や目標についての聞き取り - 必要に応じてクラス分けを実施
②	6/23	各回の進め方 - 前半は、テキストを使い基本について説明する。 - 後半は、実戦対局、順次指導対局を行う。 <囲碁> 初級：石の取り方。石の生き、死に。石のつながりかた。陣地のかぞえかた。 中級：つよい石とよわい石。攻め方と守り方。やさしい定石。詰め碁。 <将棋> 初級：駒の動かし方。王のかこいかた。 中級：各種の戦法。終盤の考えかた。詰め将棋。
③	7/7	
④	7/21	
⑤	8/11	
⑥	8/25	
⑦	9/8	
⑧	9/22	
⑨	10/13	
⑩	10/27	
⑪	11/17	
⑫	12/1	
⑬	12/15	

講師コメント

- 今年度は本講座への参加者が1年生から6年生にわたり2～4人と平均しており、学年間での交流することができた。
- 囲碁では参加者が3人と少なく、子ども同士の試合が少なかったが、その分個人指導が多く出来た。
- 将棋は今年、教科書を3段階に分けて、出来るだけ個人のレベルに合わせた指導をした。
- 家庭でおじさんと将棋をしている子どももあり、家庭内でのコミュニケーションに役立っているようだ。



参加者感想

- みんなでやれるし強くなっている気がするので、もっと行きたい。とっても楽しい。
- 勝ったり負けたり対戦がおもしろいです。ドリルはどう打ったらいいかをおぼえて、対戦につかえるからいいです。
- この将棋をやってぼくはとても心が強くなりました。友達とやっていくにつれ、とても絆が増え友達がたくさんできました。将棋は相手とやることにつれてとても強くなるということなので、いい経験になったと思います。また来年やってみたいです。
- 友だちができて、とってもたのしいです！！



⑨伊勢型紙 ^ほ彫りと^そ染め

参加者数：11名

指導員：高津京子〔伊勢型紙京彩会〕

内容：日本に古くから伝わる工芸をわかりやすく教えます。

子ども向けの型紙作りやそれを使って行う”ハケ染め”をします。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前10時～12時

回	月 日	内 容
①	6/8	刷毛染め 大袋に好きな柄を染める
②	6/29	刷毛染め コースター ふきん 花や蝶の柄
③	7/13	型紙作り 花や蝶の柄①
④	7/27	型紙作り 花や蝶の柄②
⑤	8/10	刷毛染め 小袋に好きな柄を染める
⑥	8/24	刷毛染め タペストリーを染める
⑦	9/7	型紙作り ふきん用の型
⑧	9/14	型紙作り マット用の型
⑨	10/5	刷毛染め ふきんとマットを染める
⑩	10/19	型紙作り お正月飾りの型紙または、好きなものを選びそれを彫る

講師コメント

- ・ 学校行事がそれぞれあり、時には半数以上の欠席の日もあり、大変だったこともありました。
- ・ 伝統工芸を理解してくれる子がいて、3年間も続けてくれているのには、大いに感謝の気持ちでいっぱいです。

参加者感想

- ・ やったことがなく出来るか心配だったけど、出来たのでよかった。いろいろな作品を作るのは楽しい。
- ・ 先生におしえてもらってとてもたのしかったです。
- ・ いろいろな形をほったり、自分で絵を書いて、それをほったり、形をいろんな色やきれいな色でそめたりするのがすごく楽しい。でもほる時に、むずかしい形だったり、こまかい形だと、うでがいたくなったりする。でも集中力をUP できるからいい。やっぱりむずかしいものとかほると、つかれるけど、できあがったのを見ると、うれしくなったりする。



⑩絵画教室 午前の部

参加者数：26名

指導員：小川盛雄〔犬山市文化協会美術部〕

内容：めずらしい物をかくとおもしろくなる。新しいやり方でかくと楽しくなる。

みんながちがってうれしくなる。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前の部 午前10時～12時

回	月 日	テ ー マ	内 容
①	6/29	いわしとしいたけ	色紙に「いわし」や「しいたけ」をかく
②	7/13	自分の顔	鏡をのぞいて自分の顔を楽しく描く おもしろい顔 怖い顔 変な顔
③	7/20	Tシャツのデザイン	Tシャツに染料で自分らしくデザインをする
④	8/3	自分の体	大きな紙に自分の体をうつしとる 家の人に手伝ってもらって一緒にかく
⑤	8/24	自分の体	色を付けてくわしくかいて完成する (前回と同じ服や靴)
⑥	9/21	犬山城	犬山城をかつこうよく描く
⑦	10/5	キャラクター	自分の好きなテレビや雑誌の人気のキャラを楽しくかく
⑧	11/2	市民展の見学	みんなで市民展の作品を鑑賞する
⑨	12/14	するめ	するめをそっくりにうつして、おいしそうにかく
⑩	1/11	ゴッホに挑戦	ゴッホになったつもりで力強く描く

講師コメント

- ・ 今年の児童は、比較的出席率もよく、真面目に頑張ったようだ。
- ・ 題材も適切であったようで、どの学年も真面目に取り組んでいた。
- ・ 同じ題材を、それぞれの児童が自分なりに解釈しながら、出来るだけ自分らしく表現することを目指したい。その場合、教師のやり方よりも周りの友達のそれぞれの良さを見つけて、自分を高められる子どもにしたいと思っている。
- ・ ともだちの良さを見つけ、自分らしい気持ちや思いで、より個性的な表現をすることが出来るようにしたいものである。

参加者感想

- ・ おおきな絵をかいてたのしかったよ。
- ・ 絵画教室をやって、「だいぶうまくなったね」とおかあさんに言われたから、絵は家でも描きつづけたいと思います。
- ・ 絵を自由に描いたり、自分の感じたことを絵に表わすことができるのが良かった。
- ・ 絵を書く事が大好きなので、とても楽しく行けました。



⑪絵画教室 午後の部

参加者数：25名

指導員：加藤正幸〔犬山市文化協会美術部〕

内容：めずらしい物をかくとおもしろくなる。新しいやり方でかくと楽しくなる。

みんながちがってうれしくなる。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午後の部 午後1時～3時

回	月 日	テ ー マ	内 容
①	6/29	いわしとしいたけ	色紙に「いわし」や「しいたけ」をかく
②	7/13	自分の顔	鏡をのぞいて自分の顔を楽しく描く おもしろい顔 怖い顔 変な顔
③	7/20	Tシャツのデザイン	Tシャツに染料で自分らしくデザインをする
④	8/3	自分の体	大きな紙に自分の体をうつしとる 家の人に手伝ってもらって一緒にかく
⑤	8/24	自分の体	色を付けてくわしくかいて完成する (前回と同じ服や靴)
⑥	9/21	犬山城	犬山城をかつこうよく描く
⑦	10/5	キャラクター	自分の好きなテレビや雑誌の人気のキャラを楽しくかく
⑧	11/2	市民展の見学	みんなで市民展の作品を鑑賞する
⑨	12/14	するめ	するめをそっくりにうつして、おいしそうにかく
⑩	1/11	ゴッホに挑戦	ゴッホになったつもりで力強く描く

講師コメント

- ・ 2時間で作業に残りのできる子どもも毎年のことだが、今年は早くできる子が多かった気がする。
- ・ 保護者が送り迎えの時間をきっちりと守り、子どもを長く待たせることが少なかった。
- ・ 保護者の中には子供といっしょに描いていく場面も多々あった。
- ・ 子どもの欠席について前もって連絡が来ていた。



参加者感想

- ・ 私はもともと絵をかくことが好きでした。それでこども大学の「絵画教室」があったので選びました。楽しいです。
- ・ いろいろ発見出来た事。学校では教えてもらえない絵の描き方がおもしろかった。
- ・ はじめからふでペンで書くので、上手にできるように考えられることができました。いろんな絵のぐやクレヨンを用意してもらえるので便利です。



⑫和太鼓を たのしく たたこう

参加者数：15名

指導員：柴山豊〔尾張囃子集団〕

内容：日本の伝統楽器の和太鼓を学んで、たのしく演奏しよう！

対象学年：小学3年生～中学3年生

活動時間：午後1時30分～4時30分

回	月 日	内 容
①	6/29	小太鼓を使って 楽しくたたこう 楽譜の種類を知ろう
②	7/6	大太鼓を使って 楽しくたたこう 太鼓の種類を知ろう
③	7/20	大太鼓、小太鼓を使って リズムを覚えよう 口唱歌を覚えよう
④	8/10	大太鼓、小太鼓を使って リズムを覚えよう いろんな、たたき方を覚えよう
⑤	8/31	大太鼓、小太鼓を使って リズムを覚えよう いろんな、たたき方を覚えよう
⑥	9/21	基礎打ちの練習 ほうねん太鼓を練習しよう
⑦	10/12	基礎打ちの練習 ほうねん太鼓を練習しよう
⑧	11/9	基礎打ちの練習 ほうねん太鼓を練習しよう
⑨	11/30	基礎打ちの練習 ほうねん太鼓を練習しよう
⑩	12/21	笛や鳴り物と合奏しよう
⑪	1/11	発表会での披露曲の練習
⑫	1/25	発表会での披露曲の練習

講師コメント

- ・ 暑い日も寒い日も同じ事の繰り返しで和太鼓基礎打ちを続けてきた君に「おめでとう」を送ります。
- ・ お父さんお母さんの送り迎えも大変だったと思います。感謝してください。
- ・ うまく打てるようになったね。どこの太鼓チームに入っても自慢できるよ。
- ・ これからもいろんなお稽古事をする時は単純なお稽古の繰り返しを苦にせず続けていくことが大事です。
- ・ 2年間続けた子は今や、犬山芸能祭に出演できるくらいじょうずになりました。



参加者感想

- ・ 前に違う先生の和太鼓はやったことあるけど、大太鼓しかなくて、今年は小太鼓もあって、両方出来るからとても楽しいです。前よりも太鼓がうまくなった気がします。
- ・ 和太鼓をやってみて最初は楽しいかなと思っていただけ楽しくできているのでよかったです。



⑬押し花で ものづくり

参加者数：20名

指導員：三谷文子〔押し花千種の会〕

内容：日常生活の中に押し花を取り入れ、花にふれることによって、心の豊かさ、やさしさを感じ取ってほしい。

対象学年：小学1年生～6年生

活動時間：午前10時～12時

回	月 日	内 容	ね ら い
①	6/16	名札・定規	ピンセット・ボンドの使い方
②	7/7	押し花作りとはがき	きれいな押し花がどうやって出来るかを学びます
③	7/21	花のカレンダー	お部屋飾りのワンポイント
④	7/28	クリアファイル・チャームフォルダー	予定表やお知らせをはさんで役立てます
⑤	8/11	花のコースター	テーブルを明るく、楽しくしてくれます
⑥	8/25	色紙に押し花を！	ウェルカムボードなど、思いおもいのものを作ります
⑦	9/15	ミニティッシュケース	素敵なケースに変身させましょう
⑧	9/29	I 風景作品（額入り）	2週にわたり、風景の作品を作ります
⑨	10/13	II 風景作品	風景の仕上げ
⑩	11/10	カード・しおり作り	クリスマスカードと、しおりを作ります

講師コメント

- ・ ここ2,3年、低学年の受講者が増えています。
- ・ 製作内容を少し簡単にしてきた2年間でしたが、今年は大人でも対応できる作品にもトライしました。
- ・ 内容の説明時間を多く、製作速度をゆっくり少々の手助けを心掛け立派に作品を全員完成することができ、「やれば、できる」達成感を持てるよう工夫しました。
- ・ もうひとつは、各自に押し花器を手渡し、実際に自分で花を押ししました。これからも自宅で利用してくれることを望みます。
- ・ ご父兄の皆様からも毎回すてきな作品を持ち帰ってくれるので家族も楽しみですと言っていました。



参加者感想

- ・ とてもかわいい作品が作れたので、とてもうれしかったです。先生も優しかったです。一番おもしろかったのはカレンダーです。ママやパパも「じょうずだね」といってくれました。私もとてもうれしかったです。
- ・ そしていろいろ作れるのがうれしいし、友達といっしょだから、とても楽しいです。
- ・ やってみて先生はやさしいしお花や、葉っぱのことも教えてくれるし、説明するのもすごく上手だから、また押し花に入りたいです。
- ・ 押し花の材料が家がないから、家でできないことができて楽しい。



⑭犬山原始人クラブ

参加者数：22名

指導員：高林徹雄〔犬山原始人クラブ〕

内容：火おこし器や縄文土器などのものづくりや自然体験を通し、昔の人の知恵や技を、今の私たちの生活に生かし、たくましく生きる力を身につける。

対象学年：小学4年生～6年生

活動時間：午前9時～12時（終日もあり）

回	月日	内 容
①	6/15	オリエンテーション 火おこし器を作る
②	6/23	火をおこし炎にする
③	7/20	青竹でパンを焼く & 板取川で泳ぐ
④	7/27	空き缶でご飯を炊き、五平餅にする & 板取川で泳ぐ
⑤	8/28	石器作りと、石での火おこし体験 & 板取川で泳ぐ
⑥	10/6	縄文風土器を作る & 板取川で泳ぐ
⑦	10/12	わらじ・竹の水筒作り
⑧	10/19	縄文風土器の野焼き & 竹笛を作る
⑨	11/2	土器の窯出しをする & 芋を焼く
⑩	11/17	中山道「妻籠宿」を歩く
⑪	12/1	つるかご作り
⑫	12/21	原始人祭をしよう

講師コメント

- ・ 22名は指導上適当な人数であったが、土曜日に他の習い事をしている児童は、優先順位を考えてから入ってほしい。
- ・ 参加児童の保護者が非常に協力的で、特に板取川での川遊びの時は、多くの方に監視や補助をいただけた。また、最後のサバイバル料理の活動では、食材を持ち込み美味しい豚汁を作っていたで、とても嬉しかった。
- ・ 活動時間の内、物作りの時間がほとんどとなるが、子ども達はとても集中して取り組んだ。いろいろな道具を使い、ケガを心配したが、皆無に近い状態で、子ども達はとても立派な匠になった。
- ・ 中山道「妻籠宿」の江戸時代のような街並みを、ワラジをはき、竹の水筒を持ち、昔の出で立ちで歩いた子ども達は多くの事を学んだ。体験の中で一番人気があった。
- ・ 今年は、私が担当する授業の大学生が参加し、子ども達と共に活動した。子ども達に大人気で、より楽しい活動になった。また、他校の子とも仲良くなり、人との関わりあいを持ちながら活動することが出来た。



参加者感想

- ・ 摩擦で火を起こしたことで「昔の人は火をつけるだけでも、とても大変な思いをしていたんだな。」と思いました。また、今とは全く違う方法でご飯やパンを焼いて災害が起きた時に役に立つという事を感じました。あと、妻籠宿を昔の恰好で歩いて昔の街並みの雰囲気を感じる事ができてとても楽しかったです。
- ・ 火おこし器で火を起こすのは大変だったけれど、火が起こった時とても気持ちがいいし縄文時代の人々の苦労がよくわかりました。人生でめったにない体験が出来て良かったです。仲間と協力し友だちを増やす事が出来ました。自分自身が作った作品を使って何かをする事はとても達成感がありました。（竹の水筒・わらじを身につけて妻籠宿を歩いた時など）



⑮ レクスポーツ “もっと遊ぼうぜい！”

参加者数：30名

指導員：林栄五郎〔犬山市レクリエーション指導者クラブ〕

内容：なかまをつくろう！なかまとあそぼう！なかまと楽しもう！おもしろスポーツをきわめましょう。

対象学年：小学1年生～6年生

活動時間：午前10時～12時

回	月 日	内 容
①	6/29	よろしく！！のゲーム
②	7/6	ドッチビー・チャレンジザゲーム
③	7/20	ドッチビー・チャレンジザゲーム
④	8/31	ドッチビー・シャフルボード
⑤	9/14	ドッチビー・シャフルボード
⑥	10/19	ドッチビー・チャレンジザゲーム
⑦	11/2	ドッチビー・チャレンジザゲーム
⑧	11/16	ドッチビー・チャレンジザゲーム
⑨	11/30	シャフルボード大会・ドッチビー大会
⑩	12/7	チャレンジザゲーム 記録会

講師コメント

本講座のねらいは、例年と同じように、次の2つである。

- 楽しく体を動かし、体力向上を図る。
- 皆で協力し、できたことの喜びを味わう。

これらのねらいを達成する為、「おもしろレクスポーツ」

講座では、『チャレンジ・ザ・ゲーム』『ラダーゲッター』『シャフルボード』『パッコー』といったレクリエーションスポーツを行い、みんなで運動を楽しんだ。

これらのレクリエーションスポーツの特徴は、

- 結構運動量がある。
- 内容が比較的簡単であるので、練習を積み上げれば上達できる。
- 参加するグループ全員が協調することが必要である。

という3つである。そのため、小学校1年生や2年生の子どもでもがんばればできるし、上達もしていく。

上達すれば、達成感も生まれ自己肯定感が高まる。

また、現代の子どもたちは、みんなで協力するということがとても苦手なようである。そこで、10回の講座を通して、競技するグループが協力できるように、「声を掛け合うこと」「励まし合うこと」「失敗しても責めないこと」「互いに教え合うこと」を繰り返し繰り返し子どもたちに指導し、競技が上達したときには、即座に認め、共に喜んだ。その結果、子どもたち皆が、協力して競技に取り組み、「みんなでできたとき」「みんなが上達できたとき」、子どもたちの喜びや成成感、とても大きなものであった。

今後も、子どもたちに、この感動を味わってもらえるように、支援していきたいと思う。

参加者感想

- ・ 他の学校の子やお母さん達と知り合った。行くのが楽しいと思った。得意なことと苦手なことがわかった。協力した。
- ・ 5年間ずっとやっておもしろかった。また、カローリングをやりたい。
- ・ 楽しくて来年もやりたいし、教え方も優しくしてくれて嬉しかった。友達がいっぱいできて良かったです。



⑩冒険教室（基礎編）

参加者数：15名

指導員：古澤法之〔ワークショップこころ〕

内容：山登り、川遊び、キャンプにゲーム。

遊びやグループ体験を通じて自信を持ったり、仲間づくりをしましょう。

自分自身に向けた小さな冒険のはじまりです。

対象学年：小学3年生～中学3年生

活動時間：午前9時～12時（宿泊もあり）

回	月日	内 容
①	6/2	「チェックイン」緊張をときほぐす遊び。
②	6/16	「フィールド探検 ～森～」森を探検しよう。
③	7/7	「助け合いのゲーム」協力して問題解決。
④	8/4	「フィールド探検 ～川～」河原を探検しよう。
⑤	8/25	「キャンプスキルをきたえる」キャンプに向けた活動。（火、ナイフとの付き合い方など）
⑥	10/12	「フリーキャンプ(宿泊)」 何をするのか自分達で決める、2泊3日の冒険の旅。
⑦	10/13	
⑧	10/14	
⑨	11/24	「小さな火のワーク」自分だけの火を作る。
⑩	12/15	「大きな火のワーク(ふりかえり)」協力して大きな火を作る。

講師コメント

- ・ 今年から秋のキャンプを、これまでの1泊2日から2泊3日に変更しました。その効果は想像以上で、子ども達のグループの結束が高まり、より親交を深めることができたと感じます。
- ・ 課題解決も早くなりました。アナウンス不足で、本来上級コースに入りたかった子どもがスライドしてきたこともあり、彼らがグループをグイグイと引っ張ってチームづくりに貢献してくれました。
- ・ 最終回の焚き火のワークでは、他団体が大勢いたため、仕方なく近くの河原で焚き火を行いました。それが功を奏し、石でかまどを作り、乾いた流木を探して薪を組み、焚き付けには竹を細く削いで用いるなどワイルドな体験ができたと思います。



参加者感想

- ・ 普段できないこととか、できたからたのしかった。
- ・ 冒険教室のキャンプが楽しかった。特にきもだめし、炊事。
- ・ 流木をあつめるのが大変だった。
- ・ すごくいい体験になり未来に生かそうと思った。



⑰子どもの自然教室 午前の部

参加者数：23名

指導員：古澤法之〔ワークショップこころ〕

内容：身近な森へ入って、野原や川で遊んで、採って、食べて、香って、作って、染めて・・・。

犬山の自然をいっぱい感じてみよう！今年はお米づくりにも参加します。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前の部 10時～12時

回	月日	テ ー マ	内 容
①	6/1	初夏の森たんけん	はじめまして仲間と、森と出会う
②	6/15	田んぼに入ろう	田植え体験
③	7/6	自然を食べてみよう	ワイルド食にチャレンジだ
④	7/20	夏の虫さがし	虫を探しに出よう
⑤	8/10	川ガキになっちゃおう	川遊び、魚捕り ※協力:入鹿森林愛護組合
⑥	9/7	石のペンダントづくり	石を削って、首飾りを作る
⑦	10/26	飛ぶタネ	タネが飛ぶヒミツをさぐる
⑧	11/23	葉っぱで染め物	身近な植物で染める
⑨	12/14	木の実でアート	自然素材で飾りを作る
⑩	1/18	収穫祭	とれたお米を食べよう

講師コメント

- ・ 今年久しぶりに、お米づくりを取り入れたプログラム設計をしました。
- ・ 残念ながら稲刈りが悪天候でできず、楽しみにしていた子には申し訳ないことでした。
- ・ 野草を使った菓子、五平餅づくりという食べるプログラムも復活させ、満足度は高かったのではないのでしょうか。
- ・ 部屋から森までが遠く、移動に時間を割かれたり、リースづくりでは素材の採取に手間取ったりしました。
- ・ 来年度は会場を変更して仕切り直したいと思います。プログラムにも手を加え、新たな取り組みにもチャレンジしたいものです。
- ・ 低学年の参加者が多く、どうしても彼らに合わせてしまうところがありますが、高学年でも楽しめるような工夫を、もっともっとしなければなりませんね。



参加者感想

- ・ 家では体験できないことがたくさんあって楽しいです。やってみたい講座がたくさんあって、選ぶときに、まよいました。
- ・ いろいろなひとと友だちとかなったり、先生たちと話をしたりしたのでたのしかったです。
- ・ 自然の物を使って色々な物を作れる事が分かりました。

⑩子どもの自然教室 午後の部

参加者数：22名

指導員：古澤法之〔ワークショップこころ〕

内容：身近な森へ入って、野原や川で遊んで、採って、食べて、香って、作って、染めて・・・。

犬山の自然をいっぱい感じてみよう！今年はお米づくりにも参加します。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午後の部 1時30分～3時30分

回	月日	テ ー マ	内 容
①	6/16	初夏の森たんけん	はじめまして仲間と、森と出会う
②	7/7	飛ぶタネのひみつ	タネが飛ぶ不思議を体験
③	7/21	セミのナゾをとけ	セミ笛を作って遊ぶ
④	8/4	川ガキになる ※協力:入鹿森林愛護組合	川遊び、魚捕り
⑤	8/18	夏の虫をさがして	夏、最後の虫を探しに森へ行こう
⑥	9/1	まが玉づくり	石を削って、研いで、石に触れ、石を宝物に
⑦	10/27	葉っぱで染物	身近な植物で染める
⑧	11/17	葉っぱを食べてみよう	野草食にチャレンジだ
⑨	12/9	森の恵みでものづくり	自然素材で飾りを作る
⑩	1/19	森のコンサート	森に感謝

講師コメント

- ・ 今年久しぶりに、お米づくりを取り入れたプログラム設計をしました。
- ・ 残念ながら稲刈りが悪天候でできず、楽しみにしていた子には申し訳ないことでした。
- ・ 野草を使った菓子、五平餅づくりという食べるプログラムも復活させ、満足度は高かったのではないのでしょうか。
- ・ 部屋から森までが遠く、移動に時間を割かれたり、リースづくりでは素材の採取に手間取ったりしました。
- ・ 来年度は会場を変更して仕切り直したいと思います。プログラムにも手を加え、新たな取り組みにもチャレンジしたいものです。
- ・ 低学年の参加者が多く、どうしても彼らに合わせてしまうところがありますが、高学年でも楽しめるような工夫を、もっともっとしなければなりませんね。



参加者感想

- ・ 楽しいです。知らない虫を覚えたり、山の中に入っているいろいろなことを知って勉強になりました。
- ・ かぜさんと一緒にいる時間がすごく楽しい。
- ・ 種だと思わなかった物が種だったのでびっくりした。
- ・ 石のペンダントを作ったのが楽しかった。
- ・ 色んな山や川の自然が知れてうれしいです。

＜あいちモリコロ基金助成事業＞

①生き物探検隊 クライマックス

参加者数：１５名

指導員：宮田賢輔〔(特) トンボと水辺環境研究所〕

内 容：いろんな生き物ゲットしよう！これで君も『生き物博士』だ！

対象学年：小学４年生～中学３年生

活動時間：午前１０時～１２時（バス移動の回は、９時～１５時）

回	月日	テ ー マ	内 容
①	６／２２	エビ・カニ教室	エビやカニの見分け方と住める環境について
②	６／２９（バス）	日本の淡水魚探索	なぜ、岐阜の川には魚が多いのか？
③	７／７	犬山の生き物探索	犬山の自然の特性
④	７／２８（バス）	岐阜の山探索	犬山と岐阜の自然環境のちがいを
⑤	８／２５（バス）	海の魚を釣ってみよう	釣り方、どんな魚が釣れるか？
⑥	９／２１（バス）	海岸の生き物観察	海岸の生き物の役割
⑦	９／２２	貝殻標本とストラップ作り	標本とストラップの作り方
⑧	１０／１９ (18時～21時)	真夜中の大物トラップ	夜行性の生き物について、トラップの種類
⑨	１０／２０	犬山のグルメ	いろんな生き物を食べてみよう
⑩	１１／１７	守れ犬山の自然！	川を良くするためには？

講師コメント

- ・ 今年も山に川に、そしてクライマックスのみんなは海にいろんな所に突撃しましたね！
- ・ 今年は例年よりも生物の数が多くみなさん楽しかったと思います。様々な生き物と出会い、ふれあい、そして飼育し、時には死んでしまうこともあったでしょう。その中で生き物や自然の面白さは無限大で魅力的だということに気付いたと思います。
- ・ 私はたくさんの生き物の名前や生態、面白話などをたくさんしてきました。しかしいつもいつてきたことは、人間は生き物達に支えられているのだということ！多種多様な自然、生き物がいるこの犬山を守っていくのは僕達地域の人間の使命です。
- ・ ここで勉強したことを活かして、小さなできることを探して、自ら行動してくれたらとても嬉しいです。
- ・ ここで「つかまえたっ！」のは僕らの地球の未来！！



参加者感想

- ・ 去年もこの講座に参加して川に水草を植えました。また、同じ川で植えようとしたら、小さな魚が集まっていた元気に育っていました。それを見ると、自然の素晴らしさ、生き物の大切さを改めて感じる事ができました。
- ・ この講座はすごく楽しい。楽しいだけでなく参加していなければ分からないこともたくさん学べます。
- ・ この講座に参加して、虫ぎらいの私が虫を好きになった。生き物の生き方、育ち方がよくわかった。勉強になった。
- ・ 家では連れて行ってもらえない場所や自分だけでは出来ないことも体験できるし、先生や他の大人もすごく楽しくいろいろなことを教えてくださるのでこの講座が大好きです。



②冒険教室（上級編）

参加者数：１２名

指導員：古澤法之（ワークショップこころ）

内 容：リュックに衣食住を詰めこんでバックパッキング、川の源流探索、ダンボールいかだでの川渡り
 などなど、サバイバルの要素いっぱいのキャンプです。 さあ、冒険の旅に出発しよう！

対象学年：小学４年生～中学３年生

活動時間：９時～１６時（宿泊もあり）

回	月日	テ ー マ	内 容
①	７／２１	出会う、知る ～冒険の始まり～	初めて出会う仲間、自分自身と向き合う
②	８／２２	チャレンジキャンプ（宿泊） ～ダンボール筏～	チームに分かれて難題にチャレンジ きみはクリアできるか
③	８／２３		
④	９／８	源流探索	川をさかのぼってみよう
⑤	１０／２７	サバイバル術 １ ～狩人になる～	食べることは生きること。そのスキルを磨く
⑥	１１／９	バックパッキング（宿泊） ～山旅～	ザックを背負って山へ行こう
⑦	１１／１０		
⑧	１２／８	サバイバル術 ２ ～キャンプスキル～	焚き火、ナイフワーク、ロープワークの再確認
⑨	１／２５	冬のファイヤーキャンプ（宿泊）	冬の野営体験をしよう 火を使って寒さに立ち向かい！
⑩	１／２６		

講師コメント

- ・ 新・冒険教室から名称変更し、基礎コースとの関連性を明確にするとともに、ここまでは基礎で、この先は上級でという線を引いたのです。
- ・ 内容的には昨年度を踏襲していますが、僕が経験した分、子どもに対する当りは厳しくなったのではないのでしょうか？
- ・ それでも彼らは自分の限界（と思い込んできた安全圏）を難なく乗り越えてきました。
- ・ 段ボール筏では究極アイテムである耐水シートを使うことなく川を渡り、サワガニやザリガニを食り、濡れた木でも火を熾し、山で材を切り出して箸を削り、雨に打たれながらおむすびを頬張りました。
- ・ もっと強く、もっと逞しく、もっと知恵を絞って、もっと生き生きと。
- ・ 留まることなく成長されることを望みます。

参加者感想

- ・ 火起こしの最初の点火が大変だった。
- ・ チームワークや協力が必要だと思った。
- ・ ごはんを作るのは大変だと思った。
- ・ テントを立てることだけにすごく時間がかかって大変だった。



5. 子ども大学実行委員会名簿

所属	役職等	氏 名
しみんてい	委員長	川島典之
講師	副委員長	松本里美
講師	委 員	西尾晴孝
講師	委 員	永井末男
講師	委 員	若杉廣己
講師	委 員	小川盛雄
講師	委 員	加藤正幸
講師	委 員	高林徹雄
講師	委 員	林 栄五郎
講師	委 員	伊東千恵子
講師	委 員	斉藤陽子
講師	委 員	古澤法之
講師	委 員	尾関 大
講師	委 員	柴山 豊
講師	委 員	三谷文子
講師	委 員	高津京子
講師	委 員	宮田賢輔
市教育委員会	委 員	浅井徳夫
市教育委員会		山本直美
市教育委員会		田中直美
市教育委員会		紀藤綾乃